

2012年2月期（平成23年度）
第1四半期決算 補足資料

1. 第1四半期連結決算概要

2. 2012年2月期の業績予想

このプレゼンテーションには、将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。
社会・経済・競合状況の変動等に関わるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と異なる可能性があります。

第1四半期業績報告
2011年2月16日～2011年5月15日

第1四半期ハイライト(2011年2月16～2011年5月15日)

連結業績

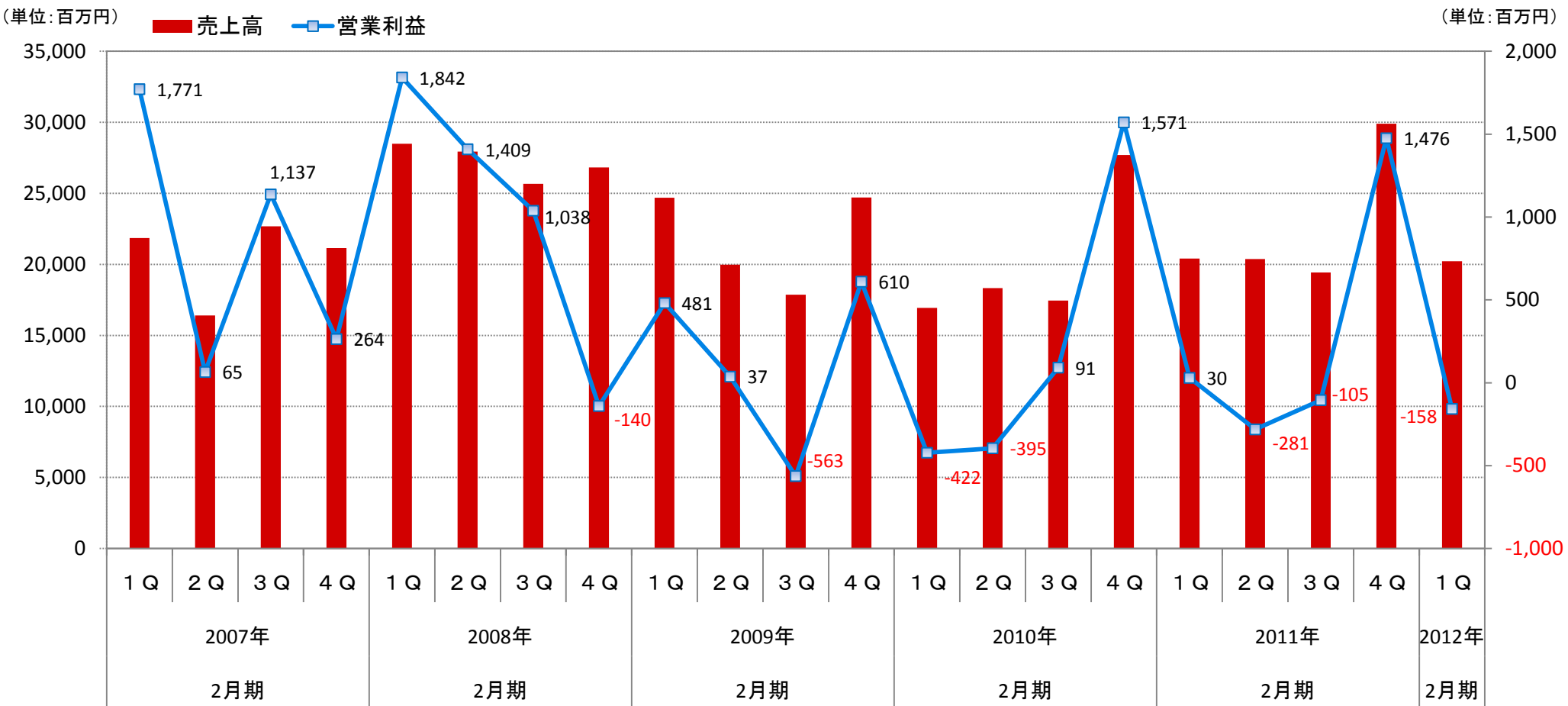
売上高	: 202億20百万円	前年同期比	0.9%減
営業利益	: △1億58百万円	前年同期実績	30百万円
四半期純利益	: △3億11百万円	前年同期実績	△83百万円

- 震災の影響があったものの前年同期並みの売上高となった。
- 震災の影響により広報・販売促進市場において展示会イベントなどの中止があった。
- 商業施設市場分野の売上は堅調に推移しているものの、引き続き価格競争が厳しい状況。

1. 第1四半期連結決算概要

売上高・営業利益の推移(四半期)

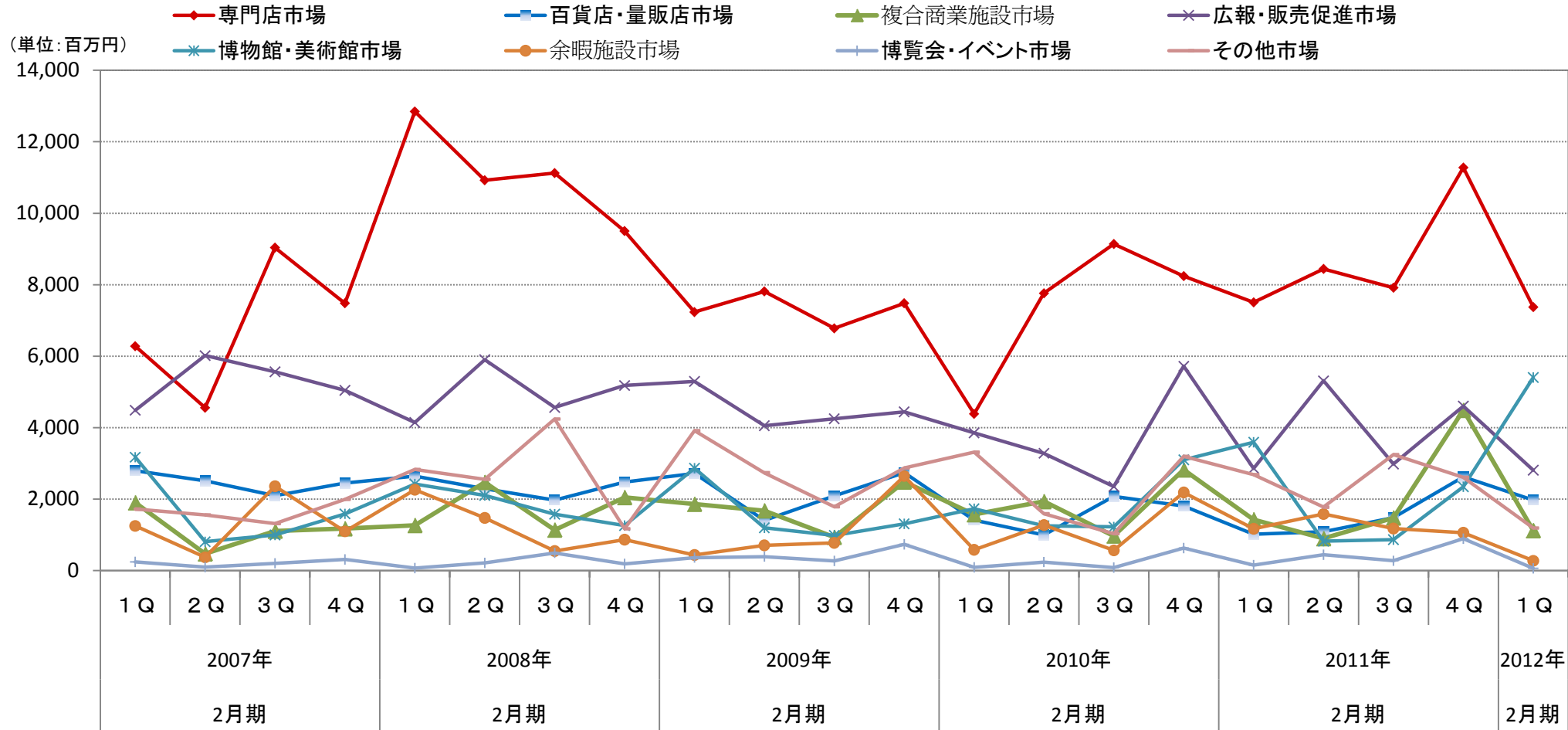
昨年同様に下期型で推移する見込み。近年は第4四半期に売上が集中する下期型の業績推移が続いている。



1. 第1四半期連結決算概要

売上高の市場分野別推移(四半期)

商業施設、展示会イベントのオープニングは、春・秋に集中する傾向があるものの、市場分野によって納期には季節変動が発生する。



(注)不動産事業と飲食・物販事業はその他市場に含み、掲載しています。

1. 第1四半期連結決算概要

市場分野別の状況

博物館・美術館市場では、大型プロジェクトが竣工された。
余暇施設市場、その他市場の減少は、前年同期に大型プロジェクトが計上されているため。

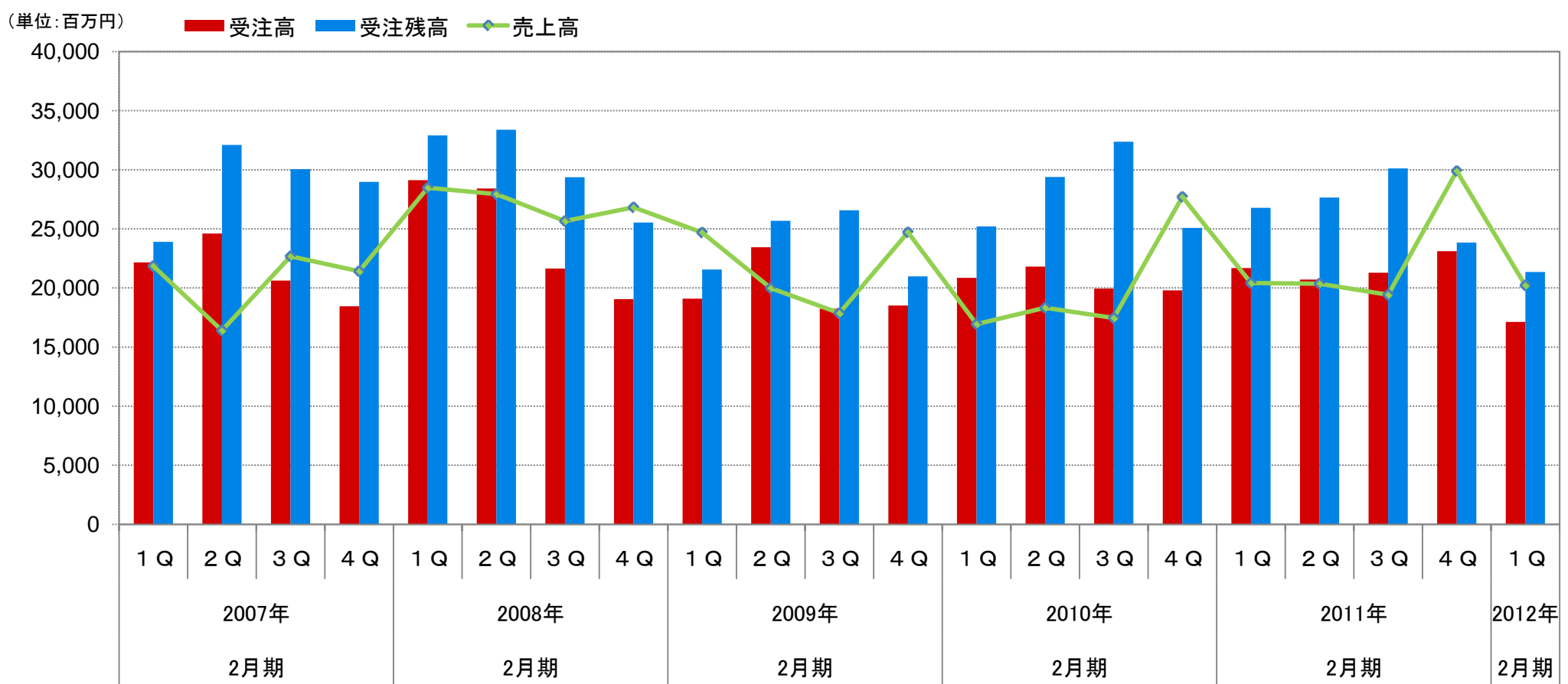
(単位:百万円)

<第1四半期>	2011年2月期		2012年2月期		前年同期増減		ポイント
	売上高	構成比	売上高	構成比			
専門店市場	7,506	36.8%	7,374	36.5%	△132	△1.8%	ファストファッション、海外・国内アパレルブランド、金融機関の店舗改装が堅調に推移した
百貨店・量販店市場	1,017	5.0%	1,976	9.8%	958	94.2%	大阪、名古屋の百貨店における春の改装があり増収
複合商業施設市場	1,426	7.0%	1,122	5.5%	△303	△21.3%	横浜駅、浜松駅などの主要駅の商業施設改装を手掛けた一部、施設のオープンが延期している案件がある
広報・販売促進市場	2,861	14.0%	2,809	13.9%	△52	△1.8%	震災の影響により3月、4月のイベントなどが中止・延期になったハウスメーカー、電機メーカーのショールームを手掛けた
博物館・美術館市場	3,591	17.6%	5,405	26.7%	1,814	50.5%	名古屋市の大規模科学館が竣工 姫路城の大改修に伴う修理見学施設、運営業務を手掛けた
余暇施設市場	1,171	5.7%	275	1.4%	△896	△76.5%	大手テーマパークを手掛けた 前年同期には、子供向けキャラクターなどの大型施設があった
博覧会・イベント市場	152	0.8%	65	0.3%	△86	△56.8%	全国植樹祭などの公共のイベントを手掛けた
その他市場	2,273	11.1%	824	4.1%	△1,448	△63.7%	オフィススペースの環境演出などを手掛けたが、大型案件がなく減収、前年同期には大手企業のオフィススペースの改装があった
ディスプレイ事業 小計	20,001	98.0%	19,854	98.2%	△146	△0.7%	
(不動産事業)	117	0.6%	120	0.6%	2	2.2%	所有する商業・オフィスビルの賃料収入
(飲食・物販事業)	293	1.4%	246	1.2%	△47	△16.2%	ミュージアムショップ、物販・飲食店舗の運営業務 震災により一部店舗を休業していたが、現在は再開している
合計	20,412	100.0%	20,220	100.0%	△191	△0.9%	

1. 第1四半期連結決算概要

受注高、受注残高と売上高の推移(四半期)

近年、受注残高は第3四半期までに大きく積み上がる傾向が続いている。
納期サイクルは短期化している。



1. 第1四半期連結決算概要

市場分野別の受注状況

受注高の減少は、震災の発生によりメーカー系を手掛ける広報・販売促進市場の3月度受注高の減少などが要因。

受注残高の減少は、複合商業施設市場が再開発関連で伸びているものの、広報・販売促進市場の減少、博物館・美術館における大型物件の売上計上が要因。

(単位:百万円)

<第1四半期>	2011年2月期		2012年2月期		受注高 前年同期増減		受注残高 前年同期増減	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高				
専門店市場	7,755	6,244	7,131	4,503	△ 624	△8.0%	△ 1,741	△27.9%
百貨店・量販店市場	1,516	1,417	1,993	845	477	31.5%	△ 572	△40.4%
複合商業施設市場	2,061	2,434	1,182	5,313	△ 879	△42.6%	2,879	118.3%
広報・販売促進市場	4,060	4,931	2,321	2,848	△ 1,739	△42.8%	△ 2,083	△42.2%
博物館・美術館市場	1,256	5,345	1,304	2,299	48	3.8%	△ 3,046	△57.0%
余暇施設市場	1,299	2,395	1,117	1,881	△ 182	△14.0%	△ 514	△21.5%
博覧会・イベント市場	464	1,002	181	262	△ 283	△61.0%	△ 740	△73.9%
その他市場	3,277	3,010	1,705	2,968	△ 1,572	△48.0%	△ 42	△1.4%
合計	21,692	26,781	16,939	20,923	△ 4,753	△21.9%	△ 5,858	△21.9%

(注)不動産事業と飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載していません。

1. 第1四半期連結決算概要

連結損益計算書

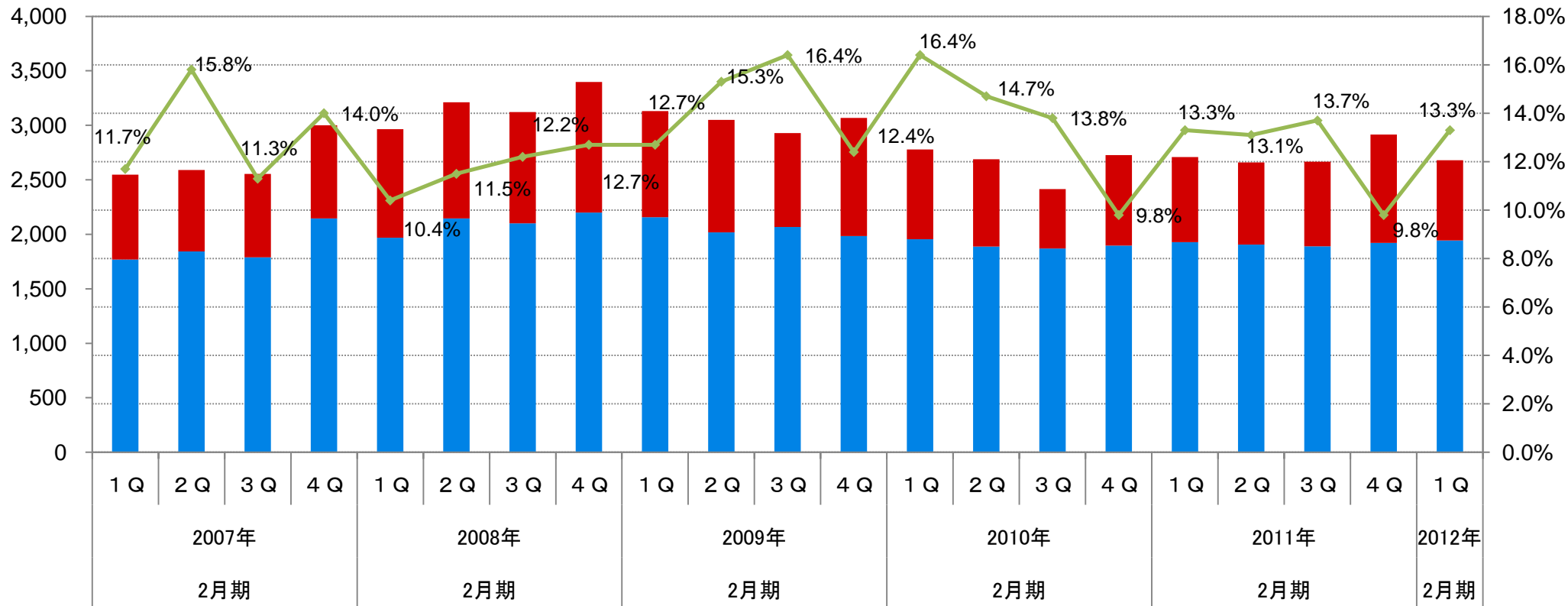
(単位:百万円)

<第1四半期>	2011年2月期		2012年2月期		前年同期増減	ポイント
	2011年2月期	2012年2月期	2011年2月期	2012年2月期		
売上高	20,412	20,220	△191	△0.9%	前年同期比:専門店△1.3億円/百貨店+9.5億円/複合商業△3億円 博物館+18.1億円/余暇施設△8.9億円/その他△14.4億円	
売上総利益(率)	2,740(13.4%)	2,521(12.5%)	△219	△8.0%	増収になった市場の利益率が低下 震災の影響などにより受注競争が厳しい状況	
販売管理費	2,710(13.3%)	2,680(13.3%)	△30	△1.1%	経費削減策の実施により各科目が減少	
営業利益(率)	30(0.2%)	△158(△0.8%)	△189	—	震災の影響による売上の減少、総利益率の低下が要因	
経常利益	79(0.4%)	△157(△0.8%)	△236	—		
特別利益	22	262	240	1093.0%	受取保険金+2億円	
特別損失	71	433	362	506.8%	震災関連(弔慰金・見舞金・義援金・修繕費等)△54百万円 前会長退職慰労金・社葬費等△1.9億円/過年度給与手当△1.6億円	
当期純利益	△83	△311	△227	—		

1. 第1四半期連結決算概要

販売管理費の推移(四半期)

(単位:百万円) 経費 人件費 販売管理費率



経費	779	748	765	855	996	1,066	1,021	1,197	974	1,033	861	1,083	822	801	545	832	783	753	776	993	736
人件費	1,768	1,843	1,789	2,146	1,968	2,145	2,100	2,200	2,156	2,017	2,067	1,984	1,956	1,888	1,869	1,896	1,927	1,906	1,891	1,922	1,943
販管費	2,548	2,591	2,554	3,000	2,964	3,211	3,122	3,397	3,131	3,050	2,927	3,068	2,778	2,689	2,415	2,728	2,710	2,659	2,668	2,915	2,680

1. 第1四半期連結決算概要

連結貸借対照表

		2011年2月 期 期末	2012年2月 期 第1四半期	前期末比増減		ポイント
資 産	流動資産	(単位:百万円) 29,465	(単位:百万円) 25,268	(単位:百万円) △4,197	△14.2%	受取手形及び売掛金△66億円:前期末の売上債権の回収 たな卸資産+21億円:下期に大型案件が控えているため
	固定資産	23,396	22,975	△421	△1.8%	減価償却累計額△1.4億円 投資有価証券評価差額△2.6億円
	資産合計	52,861	48,244	△4,617	△8.7%	
負 債 ・ 純 資 産	流動負債	21,798	18,327	△3,471	△15.9%	支払手形及び買掛金△34億円:期末月の仕入の減少 未払法人税等△6.6億円:前期分の法人税等の納付
	固定負債	6,384	5,933	△451	△7.1%	役員退職慰労引当金△1.9億円:役員の変動によるもの 繰延税金負債△1.0億円:所有する有価証券の時価下落に伴う 税効果の増加
	負債合計	28,182	24,260	△3,921	△13.9%	
	純資産	24,679	23,983	△696	△2.8%	その他有価証券評価差額金△1.6億円:有価証券の時価下落 利益剰余金△5.3億円:配当金の支払いと四半期純損失の計上
	負債純資産合計	52,861	48,244	△4,617	△8.7%	

1. 第1四半期連結決算概要

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

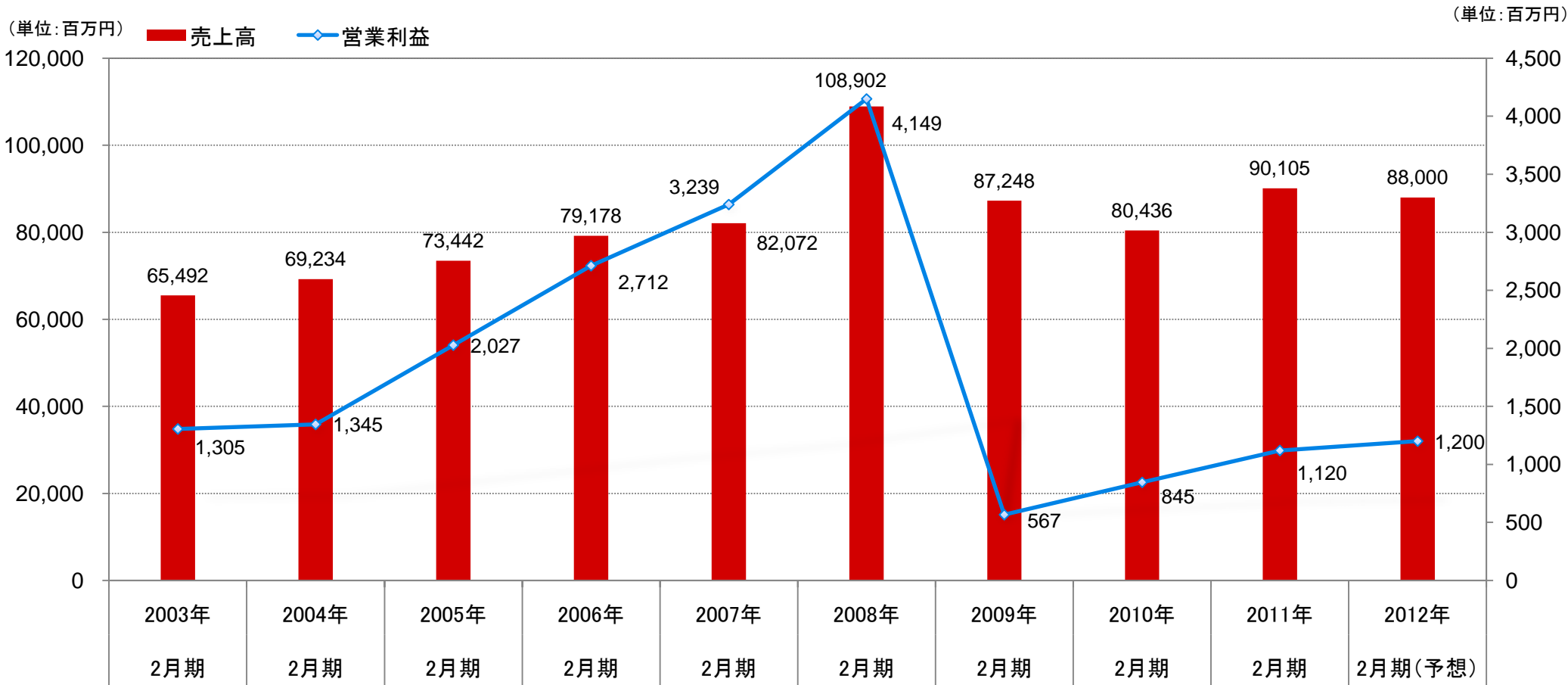
<第1四半期>	2011年2月期	2012年2月期	ポイント
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,190	1,207	売上債権の減少額66億円 たな卸資産の増加額21億円(△) 仕入債務の減少額34億円(△) 法人税の支払額7.3億円(△)
投資活動によるキャッシュ・フロー	△84	△284	有形固定資産の取得による支出48百万円(△) 投資有価証券の取得による支出46百万円(△) 長期預り保証金の返還による支出1.59億円(△)
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,117	△161	配当金の支払額1.8億円(△)
現金及び現金同等物の増加額	2,995	765	
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,682	1,761	

**2012年2月期（平成23年度）
業績予想**

2. 2012年2月期の業績予想

2012年2月期 売上高、営業利益 業績予想

売上高 880億円 (前期比 2.3%減)
 営業利益 12億円 (前期比 7.1%増)



(注)実際の業績は上記の業績予想と異なる可能性がありますので、ご承知おきください。

2. 2012年2月期の業績予想

2012年2月期 連結業績予想

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期 業績予想	88,000	1,200	1,300	650
第2四半期 業績予想	40,000	△600	△550	△500
第1四半期 実績	20,220	△158	△157	△311
通期予想の進捗率	23.0%	—	—	—

配当の状況

	1株当たり配当金		配当性向 (連結)
	第2四半期末	期末	
2012年2月期 配当予想	0円	8円	68.7%
2011年2月期 配当金	4円	4円	111.0%
2010年2月期 配当金	4円	4円	111.6%

(注)実際の業績は上記の業績予想と異なる可能性がありますので、ご承知おきください。

2. 2012年2月期の業績予想

市場分野別の計画

(単位:百万円)

	2011年2月期		2012年2月期	
	実績	構成比	計画	構成比
(ディスプレイ事業)				
専門店市場	35,142	39.0%	34,000	38.6%
百貨店・量販店市場	6,209	6.9%	6,000	6.8%
複合商業施設市場	8,294	9.2%	11,000	12.5%
広報・販売促進市場	15,761	17.5%	14,000	15.9%
博物館・美術館市場	7,631	8.5%	8,000	9.1%
余暇施設市場	4,987	5.5%	3,500	4.0%
博覧会・イベント市場	1,762	2.0%	1,500	1.7%
その他市場	8,269	9.2%	10,000	11.4%
ディスプレイ事業 小計	88,059	97.8%	—	—
(不動産事業)	491	0.5%	—	—
(飲食・物販事業)	1,553	1.7%	—	—
合 計	90,105	100.0%	88,000	100.0%

(注)実際の業績は上記の業績予想と異なる可能性がありますので、ご承知おきください。

(注)2012年2月期の計画につきましては、不動産事業と飲食・物販事業をその他市場に含み、掲載しています。